

## 一覧表

とうきゅう環境浄化財団の研究助成募集.....	797
助手公募.....	808
平成10年度京都大学防災研究所共同研究の公募について.....	827

**編集後記：**私の担当は解説記事の編集です。解説は論文と並んで「天気」の長文記事の代表です。「気象集誌」には review が極く稀にしか載りませんから、解説は機関誌「天気」を特徴付ける記事の1つと言えましょう。毎年「天気」編集委員会は、学会賞、藤原賞、山本・正野論文賞、堀内基金奨励賞の各受賞者に、大会での記念講演の内容を解説記事として寄稿してもらうようお願いしています。受賞者の研究分野や業績の内容は実に多岐にわたります。編集委員として各記事に目を通し、査読者のコメントと照らし合わせる度に、必ず何かしら自分の勉強になります。受賞者にはなるべくわかりやすく執筆をお願いしていますが、正直申し上げて、自分の専門外の記事はなかなか深くは理解できません。それでも、添付された参考文献リストと共に、ある分野を知る1つの手掛かりを与えてくれるのが何よりも有難い。毎年4～8名の受賞者がいるわけですから、「天気」の読者諸氏は居ながらにして、気象学や関連分野に関する様々な内容の話が聞けることになります。どうかご活用を…。受賞者の方々

のご協力もお願いします。

編集委員会は、会員から自発的に投稿された解説記事も随時受付けており、査読を経て読者にとって有益と判断されたものは逐次掲載されます。また、ある分野の専門家に、興味深い事柄に関する解説の執筆を依頼しています。こんなことについて解説してほしいという希望をお持ちでしたら、是非編集委員会までお寄せ下さい。受賞記念講演では大学や研究所の会員による記事が多くなりがちですので、実際の天気予報についての解説が増えることを期待する読者も結構多いのではと推測しています。幸い今月号には、気象庁の古川武彦会員から、米国の天気予報の現状について寄稿して頂きました。「我が国の天気予報システムの現状についても色々知りたい…」日夜連綿と続く予報業務の合間を縫って執筆下さる方の出現を待ち望む、こんな声も少なくないと思いますが、いかがでしょう。ご協力下さる方、どなたかいらっしゃいませんか？

(中村 尚)